

第4回ワークショップだより テーマ：「多目的スペースで実際にできる活動についてみんなで考えよう！」

ワークショップの流れ

- ・開会のあいさつ
- ・第3回までのワークショップの振り返り
- ・新庁舎周辺施設との関連性について
- ・基本設計検討案の説明
- ・グループ討議
- ・まとめ



今回のまとめとこれからの議題

■まとめ

町民の方々から、出店したいお店ややってみたい企画についてのイメージを聞くと共に、それらがどのように運営していけるのかについて話し合いを行いました。運営の方法についても様々な意見がでましたので、持続して運営出来る体制について、今後も検討を重ねてまいります。

■次回について

今回のワークショップでは、初めて運営について考えてみる時間を設けました。第一回のワークショップから自由に使える場所やイベントに対する期待も強くあり、それらを実現するための運営方法についてより具体的に考えるためのワークショップとしたいと思います。

出店したいお店や、やってみたい企画

イベントなどの開催

- ・コーヒーお茶の試飲等
- ・体験コーナー
- ・即売会のコーナー
- ・子供たちのモノづくり
- ・ミニコンサート
- ・体力測定
- ・健康チェックブース
- ・ウォーキングの出発地
- ・朝市
- ・給食が出るスペース
- ・上映会
- ・ボルダリング
- ・チャレンジショップ
- ・キッチンカー（外にする）

日常的に使える場所

- ・オープンなスペース
- ・交流の場所
- ・会話できる場所
- ・オシャレな場所
- ・待ち合わせ場所
- ・くつろげる場所
- ・目安箱
- ・カフェ
- ・自販機コーナー
- ・弁当食べられるところ

広報活動など

- ・移住コーナー
- ・各種団体の広報スペース
- ・郷土料理などの販売
- ・町の紹介所

誰が運用するのか、運営の方法、運用時間

庁舎職員のサポート

- ・行政サポート
- ・役場担当と企画運営スタッフとのコラボ
- ・役場担当者の説明できる体制
- ・宿直対応（夜）

運営団体やボランティアの立ち上げ

- ・出店者組合
- ・ボランティア運営
- ・年間予定の話し合い
- ・県内県外、おばあさんなど
- ・地域コミュニティの活用
- ・大学生を活用

持続させる方法

- ・出店料による運営

既存団体による運営

- ・黒川楽市楽座
- ・観光協会、商工会など
- ・町民の各団体
- ・活動団体に依頼
- ・東海圏で話題性のある団体

既存店舗の出張

- ・チャオ出張
- ・ポパイ出張
- ・昼間のお店の午前営業
- ・町内のお店 日替り

出店者を募る方法

- ・CCNET等で広報する
- ・期間限定（出店者の育成）
- ・募集をかける
- ・月一度の出店者を依頼

その効果や理想の姿はどんなだろうか

理想の場所のイメージ

- ・町内外から人が来て交流の場になる。
- ・ちょっと行ってみたいところになる。
- ・子供たちが大きくなってから懐かしむ場所であってほしい。
- ・居間のような空間
- ・地域コミュニティの場所

広報やPR

- ・町のPR発信になる
- ・町内のがんばっている人を知れる
- ・食文化や地域内の紹介
- ・知らなかったことを知って頂く

イベントなどの開催

- ・月一回のペースでイベントができる。
- ・お弁当販売など役場の職員や地域の人も楽しみにしているような事

出店したいお店や、やってみたい企画としては

①イベントなどの開催 ②日常的に使える場所 ③広報活動に大きく分けられた。イベントとしては、お茶の試飲や即売会などマルシェのようなイベントや、や健康に関わるものの意見が多くみられた。日常的に使える場所としては、くつろぐ・交流・会話などがキーワードとなっていた。

運用については多様な意見が寄せられ、①庁舎職員のサポート ②運営団体やボランティアの立ち上げ ③持続させる方法 ④既存団体による運営 ⑤既存店舗の出張 ⑥出店者を募る方法等が挙げられた。最も多い意見は、②運営団体やボランティアの立ち上げで、出店者組合やボランティアで運営していくことも意見が挙がっていた。

理想の場所のイメージとしては、交流の場や居間のような空間、行ってみたい場所となる等の意見が挙がっていた。広報やPRとして食文化や地域・町のことについて発信する場所として機能することも期待する声があった。また、イベントが開催されることを期待する声もあった。